

# こんにちは 松坂みち子です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.389 2018.11.20 連絡先 402-1622 >



## 「教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を 一学校をよりよい教育の場に」

日本共産党は9日、小中学校の教員定数を10年間で9万人増やすことなどを柱にした上記の党政策を発表しました。

教員の長時間労働が限界に達するもと、政府も「早急な是正」を掲げていますが、肝心の「教員増」がないなど不十分です。直近の「過労死白書」で教職員の約8割が「業務に関するストレスや悩み」を抱えるとともに、教員増を求めていることから、「学校を安心して働き続けられる場にする一点での共闘」を呼びかけました。

政策は一日12時間近くに上る長時間労働の背景に①国が教員を増やさず授業数を増やした②格差と貧困の広がりで学校の抱える課題が増えたうえ、全国学力テストや教員免許更新制、人事評価などの「学校改革」が拍車をかけた③公立学校の教員が法律で例外的に「残業代ゼロ」とされてきた—という「三つの根本問題があると」指摘し、問題解決へ以下の4つの提案をしました。

1、現在1日5～6コマとなっている受け持ち授業数を4コマを目安に減らし、小学校で週20コマ、中学校で週18コマを上限とする。そのために小中学校の教員定数を10年間で9万人増やす。（そのための財源は、先進国最下位の教育予算のGDP比を0.1ポイント上げるだけで確保できます）



2、学校の業務削減を国と自治体、学校現場の双方から推進する。

3、「残業代ゼロ」の例外扱いをやめ、残業代をきちんと支払い、残業時間を規制するなど、教職員の働くルールを確立する

4、公立、私立学校での非正規職員の正規化と待遇改善を進める。

（11月10日付しんぶん赤旗より抜粋）

### みち子のひとりごと がんばれ！羽生選手

群を抜いています。積み重ねた練習の結果としての試合。優勝はしても納得する演技がでなかつたことが悔しいでしょう。ジャンプの着地など足首にかかる負担は大きい。納得の演技をまた見せてほしいと思います。



先のこと考えれば、棄権という選択肢もあつたらうに、その考えは全くなく、痛めた直後に足首への負担が少なくなるようにプログラムを頭の中で組み立てたおもしろい。そしてそのまま本番へ。日本人離れした手足の長さ、動きのきれいさ：なんであんなに高く飛べるの？なんであんなに早く回るの？足を痛めていても他の選手と比べて

やっぱ素晴らしい！フィギュアスケートの羽生結弦選手。技術はもちろん精神力もすごい！としか言いようがありません。午前の公式練習で転倒。右足首を痛めました。本番は滑りきり「頑張った！」と自分にエール。

# 潮流

2018・11・18

彼女は人生を子どもの心のままで遊びきって、笑いきって、しっかり生ききって去った。生前、親交の深かった作家の吉本ばななさんがそんな「ありがとうの言葉」を送っていました▼乳がんのため、53歳で亡くなった漫画家さくらももこさんをしのぶ会がおととい開かれました。祭壇には漫画の登場人物や色とりどりの花が飾られ、桑田佳祐さんがアニメ「ちびまる子ちゃん」のエンディング曲「100万年の幸せ!!」を歌うにぎやかさで▼突然の訃報から3カ月。いままアニメは放映され、彼女のコーナーを続ける書店も。色彩に富んだ温かな作風で、人間の日常と心の動きを面白おかしく描いた独特の世界観。それを惜しむ声は絶えません▼さくらさんは、あの「サザエさん」を生んだ長谷川町子さんを尊敬していたそうです。家族を中心に置いて日々の暮らしを題材にした同じ漫画家として。多くの共感をよんだふたりの作品は、人びとの幸せが何気ないところにあることを教えてくれます▼きょうは内閣府が少子化対策のために定めた「家族の日」です。子育てを支える家族と地域の大切さを再認識しよう。しかし現実はどうか。不安で産めない、保育園に入れない、お金がかかる、将来が心配…。子育てを負担に感じてしまう社会があります▼子どもと家族に冷たい政治がそれを招いています。人びとの生活に尊さと、いとおしさを見いだしていたさくらさん。まる子を通して人に優しくなれる社会をつくろうよと呼びかけるように。



こんにちは

## 井本ゆういちです



先日、健康診断の結果が送られてきて、〇〇の数値と××の数値がオーバーしており、このままではイカんと、手軽に楽しくできるスポーツを探しました。そこで閃いたのがボルダリングです。室内に人工の崖が設置されたボルダリングジムにチャレンジしてきました。初心者コースから始めたのですが、10分ほどで、腕と指に

力が入らなくなっていて、すぐに見学席に座ってしまいました。やはりコツがあるようです。「しがみつかずに、壁から体を離し、腕を伸ばす」「足は壁と直角につま先で支える」などです。しかし、そんなにうまくいくのでしょうか。また行ってチャレンジしてきたいと思います。

### 講演会

「アベ内閣が打ち出した、全世代型社会保障とは？」

11月29日(木)  
18:30~  
プラザホープ2階

講師

是枝 一茂氏  
中央社保協事務局次長

主催：和歌山県社会保障推進協議会  
073-425-9355

こんにちは松坂みち子です No.389